

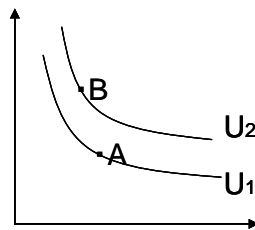
『都市の経済学 小テスト No. 3』 (1問1点、12点満点)

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっている。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

問 1. 無差別曲線について

- 1.1. 無差別曲線とは、ある個人の□1 (①外部性、②比較優位、③公共性、○④満足度) を表す。
- 1.2. 同一の個人の異なる無差別曲線上にある消費の組み合わせは、□1が□2 (○①異なる、②等しい、③どちらとも言えない)。
- 1.3. 異なる個人の無差別曲線が交わることは□3 (○①ある、②ない、③その他)。
- 1.4. 図はある個人の2つの無差別曲線を表している。この個人の□1が大きいのは□4 (① U_1 である、② U_2 である、○③ U_1 と U_2 は同じ効用水準である、④その他)。



- 1.5. 同一の無差別曲線上にあるとは、一方の財の消費を減少させるとき、他方の財の消費を□5 (①減少させる、○②増加させる、③変化させない、④その他) ことで等しい□1を実現していることを表している。

問 2. 予算制約線について

- 2.1. 所得が500円、財 α が20円/個、財 β が10円/個であるとする。この時、予算制約線はどうか正しいものを選んで□6に解答しなさい。
(① $\alpha = 50 - 2\beta$ 、② $\alpha = 50 + 2\beta$ 、○③ $\beta = 50 - 2\alpha$ 、④ $\beta = 50 + 2\alpha$)
- 2.2. 上記の予算制約線を図に書いたとき、縦軸・横軸との交点はそれぞれどうか。横軸を α の数量、縦軸を β の数量として以下の選択肢から選びなさい。ただし、 (α, β) として表記する。
横軸の交点□7 (○①(25, 0)、②(50, 0)、③(0, 25)、④(0, 50)、⑤その他)
縦軸の交点□8 (①(25, 0)、②(50, 0)、③(0, 25)、○④(0, 50)、⑤その他)
- 2.3. 予算制約線よりも下にある消費の組合せは、購入することが□9 (○①可能、②不可能、③その他) である。このとき、この消費の組合せで消費をすることは□10 (①望ましい、○②望ましくない、③その他) 。
- 2.4. 買いたいと思う消費の組合せを描いているのは□11 (①合成財、②住宅サービス、○③無差別曲線、④予算制約線) であり、買うことが出来る消費の組合せを描いているのは□12 (①合成財、②住宅サービス、③無差別曲線、○④予算制約線) である。